

## REQUIEM PROJECT

### レクイエム・プロジェクト

「大切ないのち」を見つめ  
今を生きる“私たち”が元気を取り戻し  
未来への希望を奏でる合唱プロジェクト！

レクイエム・プロジェクト実行委員会  
追悼コンサートいのりのとき実行委員会  
代表・プロデューサー 上田益（作曲家）



6,434人という多くの犠牲者を出し  
5万人近い人たちが負傷した阪神・淡路大震災。

その震災から15年となる2010年1月17日  
被災者を中心とし、公募で集まった100名を越えるアマチュア合唱団と  
プロの声楽家、オーケストラなど総勢約140名の人たちの演奏により  
被災地・神戸で新しいレクイエムが初演されました。

当日は神戸文化ホール大ホール(定員約2000人)がほぼ満席となり、  
客席と舞台が一体となった感動のステージとなりました。

神戸で2年がかりで行われた  
「レクイエム・プロジェクト」の第一弾です。

## ■レクイエム・プロジェクトとは？



このプロジェクトは、災害などの犠牲となった人たちを追悼するだけのものではありません。

「大切ないのち」を見つめ、  
今を生きる“私たち”が元気を取り戻し、  
未来への希望を奏でることを趣旨とした、営利を  
目的としない市民参加型の合唱プロジェクト です。

- 各地域での世代を超えた人的交流と、心やすらぐ新たなコミュニティづくり
- 「大切ないのち」というテーマをふまえ、神戸を教訓とした防災意識の向上や、平和への願いを次の世代につなげるための“きっかけ”づくり
- プロジェクト実施地域への思いを込めた新しい合唱曲の作曲と、実施地域間の継続性のある相互交流

という3つの目的を、実行委員会代表でプロジェクトのプロデューサーでもある作曲家・上田益(うえだすすむ)が、企画段階から2年の期間をかけ作曲し、神戸で初演された「レクイエム～あの日を、あなたを忘れない～」や、実施地域のために新たに作曲した合唱曲を練習し歌っていくなかで実践し、コンサートとして発表していきます。

レクイエム・プロジェクトは、実施する地域の方たちを中心に、その地域の実情をふまえて、実行委員会と共に1年～2年の期間をかけて行います。

地域ごとに募集する合唱団が歌う「レクイエム～あの日を、あなたを忘れない～」は、一般の人たちや合唱経験がない人でも、ある程度練習を重ねれば歌えるよう、配慮して作曲しています。



またプロジェクトの実施にあたっては、2015年までは災害や戦争の犠牲となった地域を中心に、その後は国内外の各地にもプロジェクトの輪を広げていきます。

どこか閉塞感があり、希望や夢を見つけにくい現在の社会状況。

そんな中であって、たとえば災害や戦争などに限らず、無念にも繋がらなかった“いのち”、そして今を生きている自分自身の(あるいは身近な人たちの)“いのち”を思い、見つめる事は、「生きる希望」を見いだすうえで、大切なプロセスであるように思うのです。

その役割を「レクイエム・プロジェクト」が果たすことができれば幸いです。

災害はいつどこで起こるかわかりません。

被害の大小に関わらず、災害後の傷ついた心をどうケアするか？は、とても大切な問題です。

また戦後から65年という歳月が流れ、悲惨な戦争の記憶の風化は著しいものがあります。

災害や戦争で傷ついた地域の人たちの思いを重ねて、国内外に発信し伝えていくこともまた、このプロジェクトの大切な目的です。

## ■主な実施計画ならびに候補地予定(～2015 年度分)など

2009 年●神戸 vol.1(1.17 コンサート実施済)

2010 年●神戸 vol.2(1.17 コンサート実施済) 阪神・淡路大震災から 15 年

●兵庫県佐用町(豪雨災害地)の「感謝の集い」に『神戸いのりのとき合唱団』が出演(8.29)

●東京 vol.1(プロジェクト実施中、11.7 浜離宮朝日ホールにてコンサート開催)

※東京大空襲から 65 年、戦後 65 年

2011 年●沖縄 vol.1 開催決定(プロジェクト実施のための準備中)

●兵庫県佐用町(豪雨災害地)

2012 年●沖縄 vol.2 開催決定(プロジェクト実施のための準備中)

●長崎 開催予定 ※2010 年 7 月 リサーチ開始予定

●中国・四川省 ※2010 年 4 月 リサーチのための準備開始

2013 年●北海道 開催予定(北海道南西沖地震から 20 年)

●宮城 開催予定(岩手・宮城内陸地震から 5 年)

●東京 vol.2 開催予定(関東大震災から 90 年)

●広島 開催予定

2014 年●新潟 開催予定(中越大地震から 10 年)

●イタリア(イタリア大地震から 5 年)

2015 年●神戸 vol.3 開催予定(阪神・淡路大震災から 20 年)

●東京 vol.3 開催予定(東京大空襲ならびに戦後 70 年)

●沖縄 vol.3 開催予定(沖縄戦ならびに戦後 70 年)

●長崎 vol.2 開催予定(長崎原爆投下ならびに戦後 70 年)

●広島 vol.2 開催予定(広島原爆投下ならびに戦後 70 年)

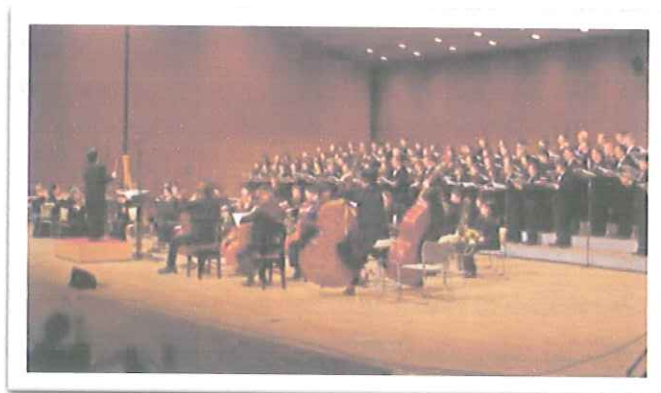
※2015 年は、オペラ形式のレクイエム・プロジェクトを計画しています。

※2015 年以後は、今後検討していきます。

## ■プロジェクトに至る経緯

実行委員会代表の上田益は、1999 年から現在まで毎年、阪神・淡路大震災の犠牲者の追悼と神戸の復興を願って始まった「神戸ルミナリエ」の会場音楽を作曲し、その追悼音楽の曲数は約 70 曲になりました。

さらに、2005 年からは毎年 1 月 17 日(阪神・淡路大震災の日)に無料の追悼コンサート「いのりのとき～あの日を忘れない、あなたを忘れない～」を毎年開催してきました。



このコンサートは、震災の記憶を風化させることなく次の世代に語り継ぐ事、そして追悼の思いと明るい希望が訪れるようにという願いを込めて、追悼イベントが少なくなる震災 10 年目からあえて開始したものです。

10 年以上に及ぶ震災との関わりの集大成・第一段階として、オリジナルの「レクイエム～あの日を、

あなたを忘れない～」を作曲し、「追悼コンサートいのりのとき」を発表の場とするレクイエム・プロジェクトを企画、実施しました。

そして神戸でのプロジェクト成功により、国内外に広げていくことになったのです。

## ■レクイエム～あの目を、あなたを忘れない～について

レクイエムは本来は「死者のためのミサ曲」ですが、日本では一般的に「鎮魂曲」とらえられる事も多く、通常、声楽のソリスト、合唱団、オーケストラにより演奏されます。

歌詞はキリスト教の典礼分を使用し、10曲ほどの楽曲により構成されています。

モーツァルトやフォーレ、ベルディなどの著名な作曲家なども代表作として残し、宗教を特に意識せずにクラシック・ファンから愛され、演奏会でも盛んに取り上げられています。

今回の上田益作曲のレクイエムも、そういった伝統的なレクイエムのスタイルを借りていますが、全10曲のうち4曲は上田益自らが神戸の犠牲者の方々への思いや、未来への希望を綴ったオリジナルの詞による楽曲で、独自性のあるレクイエムとなっています。



特徴は終曲に向けて曲調がだんだん明るくなり、今を生きている私たちのための「希望への賛歌」となっていくます。言語はあえてすべてラテン語です。これは、趣旨に賛同する海外の方々とも言葉の壁を越えて広く演奏の機会を持てるようにとの願いからです。

## ■プロジェクトへの思い

阪神淡路大震災以後、中越地震、中越沖地震、能登半島地震、岩手・宮城内陸地震などに代表される国内での災害はもとより、中国四川での大地震、スマトラ沖地震およびインド洋津波被害、トルコ西部大地震、ミャンマーのサイクロン被害、イタリア中部地震、ハイチ大地震、チリ大地震、中国青海省地震など、海外でも数多くの災害が発生し多くの尊い命が犠牲となっています。

また阪神・淡路大震災が終戦からちょうど50年目の年に起こった事を考え合わせると、戦争・災害の惨禍や犠牲者の方々に対する記憶の風化への警鐘でもあったように感じる事があります。

2010年は終戦から65年となる年。

5年後の2015年は阪神・淡路大震災から20年、終戦から70年になります。

悲惨な戦争の記憶が風化する昨今、その記憶や“いのちの大切さ”を次の世代に語り継ぐためにも、災害の被災地はもちろんのこと、広島、長崎、沖縄などをはじめ、海外でもこの「レクイエム・プロジェクト」の活動を広げて行きたいと考えています。

## ■プロジェクトの特徴

- 可能な限り実施する地域性を尊重した内容を盛り込み、地域への思いを込めた合唱曲を上田益が新たに作曲する。新しく生まれた合唱曲は、実施地域で相互に歌い継いでいく。
- 幅広い世代による合唱団の組織を目指す。
- 合唱団以外の部分は、オーケストラを基本とするが、プラスバンド、ピアノのいずれかを選択できるようにし、実施する地域、会場などの実情に合わせた演奏形態とする。
- 音楽関係者のみが関わるのではなく、地域住民が幅広く参加できるよう配慮する。